

事業名称	河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業
事業の目標・概要	<p>【目標】 企業版ふるさと納税を活用した事業を実施することにより、河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進を図る。</p> <p>【寄附を活用して実施した事業】</p> <p>1. サッカーチームと連携したまちの魅力向上事業 市内南花台地区では、少子高齢化の進む開発団地の再生モデル構築として、「南花台スマートエイジング・シティ 団地再生モデル事業」に取り組んでいる。 この一環として、同地区内でUR都市機構が進める集約型団地再生事業により生まれる跡地に女子サッカーチームの本拠地を誘致し、チームと連携することによる地域の活性化を図る。</p> <p>2. 林道整備事業 市管理の基幹林道であり、地区林業の基幹であるとともに、緊急輸送路としての役割も担っている林道千石谷線外1線の整備を実施する。</p> <p>3. 公共交通推進事業 3. 公共交通推進事業 本市と包括連携協定を締結している南海電気鉄道(株)との連携により企業版ふるさと納税(人材派遣型)を受入れ、公共交通推進に係る各種業務を推進し、地域の実態に応じた交通ネットワークの整備や、市民の生活利便性確保を図る。</p>

【実績(令和4年度寄附額)】

	社名	年月日	サッカーチームと連携したまちの魅力向上事業	林道整備事業	公共交通推進事業
1		2022/4/28	2,500,000		
2	musica株式会社	2022/5/24	10,000,000		
3	味覚糖株式会社	2022/7/25	15,000,000		
4	ユーハ味覚糖株式会社	2022/7/25	6,000,000		
5	ユーハ株式会社	2022/7/25	2,000,000		
6	ユーハピピン株式会社	2022/7/25	1,000,000		
7	ユーハ味覚糖精密工学研究所株式会社	2022/7/25	1,000,000		
8		2022/7/28	100,000,000		
9		2022/7/28	1,000,000		
10		2022/7/28	1,000,000		
11		2022/8/31	100,000		
12		2022/9/17	500,000		
13		2022/9/30	100,000		
14		2022/11/30	100,000		
15		2023/1/31	1,000,000		
16		2023/3/15	1,000,000		
17		2023/3/15	100,000		
18		2023/3/20	300,000		
19		2023/3/20	3,000,000		
20	株式会社ウォーターエージェンシー	2023/3/24	1,000,000		
21		2023/3/24	300,000		
22		2023/3/28	100,000		
23		2023/3/30	200,000		
24		2023/3/31	10,000,000		
25	医療法人健人会 那須クリニック	2023/3/31	210,000		
26		2022/5/18		100,000	
27		2023/3/24			5,406,692
			157,510,000	100,000	5,406,692

担当者評価、事業の課題と令和5年度以降の方向性	<p>【令和4年度担当者評価】 「①非常に効果的であった」</p> <p>【令和4年度の評価内容】 過去の寄附企業との関係性維持に努めたほか、新たに、市と関連のある企業にも寄附の働きかけを積極的に行った結果、寄附金の増加や、企業版ふるさと納税人材派遣型の活用にもつながったことにより、民間資金のみならず、人材の持つノウハウがより直接的に可能となるなど、非常に効果的であった。</p> <p>【事業の課題と令和5年度以降の方向性】 これらの事業が企業版ふるさと納税の活用事業であることを周知しきれていない状況である。今後は、市民をはじめとして本事業を広く周知することにより、企業が企業版ふるさと納税によりCSRを果たしていることも併せて周知し、企業にとってのメリットを最大化させることで、より寄附をいただけるという好循環を目指していく。 さらに、寄附企業との協議も行い、企業との関係性が寄附のみにとどまらないよう、広く公民連携にも繋げていく。</p>
--------------------------------	--

担当者評価：評価事業の目標達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
委員会評価	取組事業が事業の目標・KPI達成するために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	

河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業 事業シート

事業名称	河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業	
要素事業①	サッカーチームと連携したまちの魅力向上事業	担当課 総合政策部政策企画課

	実施内容	参考指標	事業費(千円)
令和4年度実施事業	<p>(1)令和4年度実施事項 UR団地集約事業跡地に整備する(仮称)南花台中央公園整備に向けた基本計画を策定するため、市の附属機関として学識経験者や地域住民代表等で構成される「河内長野市UR南花台団地集約跡地活用整備事業推進委員会」を立上げ、全11回の会議を実施すると共に、基本設計・実施設計事業者の選定を行った。 また、事業用地購入に向けた不動産鑑定を行い、市の不動産評価審議会に諮り、土地の評価額を決定した。</p> <p>※ただし、寄附金の充当事業であるサッカースタジアム建設については、設計の開始が令和5年度であるため、企業版ふるさと納税の充当も令和5年度より実施予定である。 令和4年度受領の寄附金は、市の基金(河内長野市ふるさとづくり基金)へ全額積み立てを行った。</p> <p>(2)企業版ふるさと納税受領額 1億5,751万円(25社)</p>	<p>○施設一体型小中一貫教育推進校整備と公園整備に関する住民説明会 ・令和4年11月20日実施 ・参加者92人</p> <p>○UR南花台団地集約事業跡地における公園整備事業に関する意見交換会 ・令和5年1月29日実施 ・参加者数:80名</p> <p>○スペランツァ大阪ホームタウン感謝デー(河内長野市民デー) ・令和4年9月4日実施 ・112名の市民が来場</p>	33,244
	(合計)		33,244

	【令和4年度評価】	【令和4年度の評価内容】
担当者評価	②相当程度効果があった	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業と連携することにより、市の実質負担なくハード整備が実施可能となる。 ・ 企業版ふるさと納税を活用することで、多くの企業と接点生まれ、今後のプロジェクトにおける参画が期待できる。 ・ 企業版ふるさと納税を活用した取り組みとして注目度が高く、事業自体の周知に貢献している。 <p>※令和5年度までは、寄附金の事業費への充当(サッカースタジアム建設)は行われないことから、左記評価は、サッカースタジアム建設についてではなく、「企業版ふるさと納税の活用」についての効果を記載しています。</p>

評価事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③「効果があった」、「④効果がなかった」

改善	<p>【今後の課題・取組みなど】</p> <p>寄附金充当業務としては令和5年度以降の実施となる。 事業の効果を最大限に発揮できるよう、専門家はもちろん地域住民の意見も取り入れながら、単なる施設整備にとどまらない、新たな地域交流が生まれる場となるよう進めていく。 また、寄附企業との協議も行い、企業との関係性が寄附のみにとどまらないよう、公民連携に繋げていく。</p>
-----------	--

河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業 事業シート

事業名称	河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業	
要素事業②	林道整備事業	担当課 環境経済部農林課

	実施内容	参考指標	事業費(千円)
令和4年度実施事業	<p>(1)令和4年度実施事項 市管理の基幹林道であり、地区林業の基幹であるとともに、緊急輸送路としての役割も担っている林道千石谷線外1線の整備を実施した。</p> <p>(2)背景 ・寄附を申し出た事業者(以下、「同社」)より、森林の保全、特に林道等に関する事への活用意向が聞かれた。 ・地方版総合戦略の基本目標1「安定した雇用を創出する」の施策2「農林業の振興」において、「林道の基盤」が規定されていることから、寄附金を充当する要素事業の内容として林道整備事業を選定し、事業費の一部に充当した。</p> <p>(3)企業版ふるさと納税受領額 10万円(1社)</p>	<p>令和4年度実施事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工延長 L=102.6m ・コンクリート路面工 A=418.0㎡ 	4,114
	(合計)		4,114

	【令和4年度評価】	【令和4年度の評価内容】
担当者評価	②相当程度効果があった	<p>○当初予算上の千石谷舗装予定延長は70mであったところ、寄附金の活用により2.5mの量的充実が図れた。</p> <p>○寄附事業者は、林業振興に意識の高い事業者であり、同社と協議し、思いを反映した寄附金の活用を行ったことで、同社との継続的な連携にも繋がっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度も、同社より同様の趣旨・金額で寄附を受け入れ ・附属機関「かわちながの森林プラン推進協議会」に同社代表が委員に就任(令和4年度より) ・同社については、森林整備地域活動支援事業補助金により森林経営計画策定に向けて取り組みがなされた。

評価事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

改善	<p>【今後の課題・取組みなど】</p> <p>企業版ふるさと納税がさらに広がるよう、本実績を市内外にアピールする必要がある。さらに、企業との関係性が寄附のみにとどまらないよう、林道災害における効率的なパトロール等公民連携に繋げていく。</p>
-----------	--

河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業 事業シート

事業名称	河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業	
要素事業③	公共交通推進事業	担当課 都市づくり部都市計画課

	実施内容	参考指標	事業費(千円)
令和4年度実施事業	<p>(1) 令和4年度実施事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モックルMaaSの実装、運用 <p>関係部局と仕様内容の調整を実施後、業者選定のための公募型プロポーザルを実施。選定事業者とシステム仕様について協議を進め、システム改修やコンテンツ制作を実施。市の魅力の効果的な発信のため、関係部局や事業者と密に連携しながら、コンテンツの充実に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画の策定 <p>「河内長野市公共交通のあり方」に基づく、令和5年度からの具体的な取り組み施策を定める実施計画を策定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナを見据えた公共交通ネットワークの再構築 <p>石見川地区の検討会で協議しながら、スクールバスと乗合タクシーを一体的に運用するスキーム作りを進めた。</p> <p>(2) 背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市と包括連携協定を締結している南海電気鉄道(株)との連携の過程で、企業版ふるさと納税(人材派遣型)を受入れることとなった。 ・同社とは、日頃より公共交通分野で密接な関係性があり、公共交通に精通する人材が豊富であることから、協議の結果公共交通推進事業での人材受け入れとなった。 	公共交通不便地域への支援(支援地区数):5地区	25,790
	(合計)		25,790

	【令和4年度評価】	【令和4年度の評価内容】
担当者評価	①非常に効果的であった	<p>○モックルMaaSの実装、運用については、庁内関係部局との協議のみならず、交通事業者や協力事業者との調整が必要であり、交通事業者からの派遣人材知識やノウハウを活用することができて、非常に効果的であった。</p> <p>○地域公共交通計画については、交通事業者としての知識やノウハウを活用することができて、非常に効果的であった。</p> <p>○公共交通ネットワークの再構築について、R4年度に実施した石見川地区の地域の検討会や、スクールバスと乗合タクシーの一体的な運用をするスキーム作りにおいて、派遣人材の持つ、行政とは異なる知見を活かし、事業を進めることができた。</p>

評価事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

	【今後の課題・取組みなど】
改善	市内の公共交通ネットワークの再構築を進めるにあたり、事業者の目線やノウハウを持った人材と協働で進めることができるのは、有意義である。今後も民間事業者との連携を図っていく必要がある。